

親子の愛情 ロゴマークで表現

合志市の市制施行20周年を記念するロゴマークに、崇城大芸術学部の西田桜さん(19)＝熊本市＝のデザインが採用された。数字の「2」に見立てた母親が、「0」で表現した赤ちゃんを抱っこするように配置し、愛情あふれるロゴに仕上げた。

合志市は昨年末からロゴ案を公募。34点が集まり、市議会などが審査した。

西田さんは在住者から「子育てしやすい」と聞き、子育て政策に着目。親子が優しく抱き合うイメージにし、市内で生産が

盛んなカスミソウをあしらった。

27日に市役所でお披露目式があり、荒木義行市長が西田さんに感謝状を手渡した。西田さんは荒木市長に、カスミソウの花言葉に「赤ちゃんの吐息」があることなどを紹介。「いつか合志市に住んでみたい」と話した。

市は4月以降、ロゴマークをチラシやポスター、報道資料などにあしらう。荒木市長は「いろいろなお祝い行事で飾り、若者から選ばれる市にしたい」と述べた。

(林田賢一郎)

西田さん
(19歳) 崇城大芸術学部
デザイン